



医療法人恭青会 理事長
いくの眼科 院長

生野 恭司

新年あけましておめでとうございます。旧年中は当法人へ温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。本年も、地域の皆さまの健康と視機能の維持に貢献できるよう、スタッフ一同より良い医療提供に取り組んでまいります。

昨年は、高市政権の発足により、医療制度をめぐる議論が大きく進展した一年となりました。国民皆保険制度の持続性確保を主軸としつつ、加速する高齢化と医療費増大にどのように向き合うかが明確に問われています。診療報酬体系の見直しや保険給付範囲の調整、後発医薬品使用の促進、効率化を目的とした制度設計など、医療制度そのものが変革期を迎えています。今年はその流れがさらに具体的な形となり、医療費負担の在り方や公平な資源配分についての議論がより深まることが予想されます。受診側の自己負担増加が現実味を帯びる中で、医療機関には、正確で迅速な情報発信と、治療選択についてより適確な助言を行う姿勢がこれまで以上に重要となります。制度が変わる時期だからこそ、医療の本質である「誠実な説明と納得できる選択」が強く求められていると感じております。

このような社会情勢の中、恭青会は今年も「すぐれた眼科医療を一人でも多くの患者さんに提供し、地域の目を守る」という理念のもと、眼科・形成外科の専門医療機関として確かな医療をお届けしてまいります。高い専門性を持つ医療人の育成、学術活動の充実、研究成果に基づく診療の質向上という三つの柱をより堅実に進め、患者さまに選ばれ、地域に信頼されるクリニックグループとして歩みを重ねてまいります。高度医療をより身近に感じていただける環境を整え、医療を通じて社会へ貢献できる存在でありたいと願っております。本年も変わらぬご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。



いくの眼科
武庫之荘院 院長

大家 典子

新年あけましておめでとうございます。

今年は午年、馬のまっすぐ前へ進む力強さから躍動、成功、勝負運を意味する干支とされており、事業が発展する年、努力が実を結ぶ年ともいわれています。今年も皆様にとって実り多い1年となりますようお祈りいたします。

昨年、日本で初めて小児の近視進行抑制を効果効能として承認された点眼薬が発売されました。近年世界中で近視の人口が増加し、日本でも裸眼視力1.0未満の子どもが40年前から増え続けています。近視は、遠くのものが見えただけでなく、進行すると緑内障や網膜剥離等の他の眼科疾患の危険因子となる事もあります。そのため近視の発症を減らしたり、進行を遅らせることが重要な課題となっています。必要以上に近視を進行させず、近視とうまくつきあっていくためにさまざまな近視進行抑制治療が研究されています。子どもたちの眼の健康を守るため有効で安全な治療を届けてまいりたいと思います。本年も地域の皆様の眼の健康に貢献できますようスタッフ一同精進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



なかやま形成外科
美容クリニック 院長

中山 真紀

新年あけましておめでとうございます。

旧年中はなかやま形成外科 美容クリニックをご利用いただき、誠にありがとうございました。多くの皆さまとのご縁に支えられ、無事に新しい年を迎えることが出来たことを心より感謝申し上げます。当院では、形成外科としてけがややけど、傷あと、皮膚・皮下のしこり、まぶたの下垂など、お身体のお悩みに幅広く対応しながら、美容皮膚科として「より自然に美しく・健やかに」なることを目指して、お肌や外見に関するケアを行っております。

形成外科の確かな医療技術を基に、安全性を第一に考えた美容医療を提供し、患者様一人ひとりに寄り添った診療を心がけております。

これからも、安心してご相談いただける環境作りと、信頼してお任せいただける医療の提供にスタッフ一同努めて参ります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

＼ その肌トラブル、冬のせいかもしれない？ ／

冬の肌トラブルの2大原因は 「気温の低下」と「乾燥」

寒さと乾燥が厳しい冬は、肌トラブルが起こりやすい季節です。

気温低下

気温が下がると冷えや寒さによって血流障害が起こり、しもやけや網状皮斑が起こりやすくなります。

乾燥

バリア機能の低下により、脂腺・汗腺の働きが落ち、うるおいが不足。その結果、かさつき・かゆみ・あかぎれなどの乾燥トラブルが起こりやすくなります。

【知っておきたい！冬に多いお肌トラブル】

トラブル

01 しもやけ(凍瘡)

からだの末端(足、手指、耳など)に赤みと腫れが出やすい。体質的な素因がありますが、膠原病の初発症状として現れることもあるため注意が必要です。

トラブル

02 皮脂欠乏性湿疹・貨幣状湿疹

皮脂や汗の分泌が減少し、皮膚が乾燥。すねやふくらはぎ、お腹まわりなど、擦れやすい場所にできやすく、色素沈着化しやすいです。

トラブル

03 網状皮斑

温度の急激な変化で血管のバランスが崩れ、皮膚に模様が見れることがあります。

トラブル

04 低温熱傷

すねやふくらはぎに多く、湯たんぽや電気毛布、カイロなどで起こります。44～50℃程度でも長時間当たると深いやけどになりやすいです。

トラブル

05 あかぎれ

ひび割れが重症化した状態で、赤く腫れ痛みを伴います。

冬の肌トラブルを防ぐポイント

- ✓ 熱いお湯で手や身体を洗わず、ぬるま湯を使う
- ✓ 洗うときはこすらず、泡で優しくなでる
- ✓ 弱酸性の洗顔料で肌への負担を減らす
- ✓ 室内では加湿器を使用し、乾燥を防ぐ
- ✓ 保湿剤をこまめに塗る。乾燥が気になる部位は最後にワセリンで追い保湿
- ✓ 手足を冷やさない(暖かい靴下を履く。ただし湯たんぽやカイロは注意)
- ✓ マッサージで血流を促す。痒みや痛みが強い場合はステロイド外用剤も併用

冬の肌トラブルを防ぐには、**日頃のスキンケアが非常に大切**です。
気になる症状があれば、早めに医療機関を受診しましょう。

医療法人恭青会グループ
<https://kyoseikai.com/>



いくの眼科

<https://kyoseikai.com/ikuno-eye/>
Tel. 06-6309-4930

いくの眼科 武庫之荘院

<https://kyoseikai.com/mukonosou/>
Tel. 06-6423-8871

なかやま形成外科
美容クリニック

<https://kyoseikai.com/nakayama-keisei/>
Tel. 06-4950-7140

LINE 公式アカウント
QRコードからお友達登録をお願いします

いくの眼科
十三本院



いくの眼科
武庫之荘院



なかやま形成外科
美容クリニック



@kyoseikai
@kyoseikai.eye.doctor

@nakayama_clinic